



# ななサボ

越谷市市民活動支援センターでは7つのサポート(ななサボ)を行っています。

発行:越谷市市民活動支援センター 住所:埼玉県越谷市弥生町16-1越谷ツインシティBシティ4階、5階 URL:<http://koshigaya-activity-support.info/>  
Eメール:info@koshigaya-activity-support.info 市民活動支援センター:TEL.048-969-2750 FAX.048-969-2751 中央図書室:TEL.048-969-1800  
利用時間:午前9時~午後9時30分(図書室午前9時30分~) 休所日:年末年始(図書室のみ休室日別途有)



## 一特集一

### ジモトの マップ



近頃は、「地図」といえば、スマートフォンやタブレットの地図アプリを利用する人も多いでしょう。確かに目的地までの経路の検索や、自分が今いる場所の確認には地図アプリはとても便利で、今や私たちの生活に欠かすことのできないツールになりました。しかし、紙の地図だって負けていません。ローカルな情報を載せたまち歩きマップや、地域の商店などを紹介したマップは、日本各地の駅や公共施設、観光案内所で配布されています。マップの作り手も行政から個人まで様々です。皆さんも旅先や地元の駅で手に入れたマップをひろげながら、おすすめスポットを巡ったり、美味しいレストランを探したり、新しいお店を見つたり、心をときめかせた経験があると思います。そんな、私たちの生活をちょっと楽しく豊かにしてくれるマップが、どんな人たちによりどんな思いを込めて作られているか気になりますか?

今号では、越谷に暮らし、生活者の視点でマップ作りに取り組む、ふたつの市民活動団体を紹介します。



2018年 AchaAcha



代表 祐加さん

「AchaAcha」はヒンディー語の「achcha」から名付けられました。achchaは「いいね」「楽しい」「おいしい」など、ポジティブな感情を表す言葉です。私たちの身近にある自然食品を生活の中に取り入れることは大変ではないこと、食品や日用品を「買ってはいけない」「買ってはいけない」というマイナスな視点から選ぶのではなく、「楽しい」「おいしい」といったプラスの感情で発信し、来場者に気軽にオーガニックを生活に取り入れてほしいとしあわせのたねプロジェクトを積極的に取り入れ提供しています。

AchaAcha出展者は、「無農薬に取り組んでいる」「自然食品などを積極的に取り入れ提供して

見たら思わず手に取ってしまう可愛い「ロハまっふ」。名前の由来は「環境や人の健康に配慮した暮らしやライフスタイル」をさすロハスから。マップには団体が主催するイベント「AchaAcha」に出席しているお店が載っています。

### イベントに込められてる想い

「AchaAcha」はヒンディー語の「achcha」から名付けられました。achchaは「いいね」「楽しい」「おいしい」など、ポジティブな感情を表す言葉です。私たちの身近にある自然食品を生活の中に取り入れることは大変ではないこと、食品や日用品を「買ってはいけない」「買ってはいけない」というマイナスな視点から選ぶのではなく、「楽しい」「おいしい」といったプラスの感情で発信し、来場者に気軽にオーガニックを生活に取り入れてほしいとしあわせのたねプロジェクトを積極的に取り入れ提供しています。

### ロハまっふ

しあわせのたねプロジェクト

い「など、趣旨に賛同しありにつながりをもってみんなで協力できる、そういった意識をもち会場に集まっています。そのため会場に一体感が生まれ気持ちのいい空間を創り出しています。しかし、イベントは1日限りのものです。出展したお店のことをより多くの人に継続して発信していきたい、出展者同士を自然とつなぐツールとなればとマップの制作に至ったそうですね。

子育てママも活躍!  
ロハまっふができるところ

最初にロハまっふができるのは平成28年。2度目のAchaAcha開催の時でした。表紙には市内の高校生が描いた絵を起用。その後は子育て中のお母さんがデザインしています。

代表の祐加さんは結婚、出産を経て「子育てをしながら仕事を継続していく方法はないか」「スキルのあるお母さんたちの力を『見える化』することはでき



